







十月一日、雨で順延となつた第四十二回体育祭が行われた。

打撃を被つたデコレーションも見事に復原され、澄みわたつた秋晴れの空の下、美刻に開会。開会式では、鈴木建太郎高校生徒会長が、「勝負は大切だがそれが全てではない。今日のテーマは「楽しんで勝っちゃおう」です」と挨拶した。

第42回  
**体育祭**

マンネリ打破への道のり遠く

賞を取った。他には、いかにも男子校的というか、少女が悪漢に襲われる正義の味方現れてこれを救う、というパターンが多かった。アトラクなんて好きなようにやればいいのだが、ただ、独創性のなさを感じると共に背後に女性蔑視の意識がないか、気になった。エール交換では、Bの「校長先生のおかげです」をはじめ、古臭い従来のイメー

ジを破る試みも見られた。また、Jリーグ人気を反映した、二クラスがJリーグのアトラクをし、応援にチアホーンが使われたりして、競技種目はほとんど昨年と変わりばえせず、盛り上がりは欠いた。その中で唯一の新しい競技が、中三の「二十人大むかでりレ」。練習不足なのかなかなか足並みが揃わず、ゴール目前で四苦八苦する

恨みの雨  
デコレに被害

デコレに被害

本来の体育祭予定日であつた九月三十日。早朝からぐずついた空模様で、開催は微妙な状況であつた。朝六時半から、校長・副校長・教務部長・生徒部長・体育科主任の先生方が協議し、七時頃「決行」と決定。しかし、八時前に雨が降り出して「教室待機」に。約二十分後、いよいよ雨足が強まり「止、順延」なつた。この雨で、観覧席が水に濡れたり、ラインが消えたりする混乱があつたが、中でも被害を受けたのがデコレーション。一早くビニールをかけたBクラス以外、模造紙が雨に濡れて破れるなどし、結局その夜遅くまで

## 冬場のコート 大幅に“規制緩和”

市販のコートOK

生徒の良識試す場に

先日の保護者会、合同朝礼において、今冬からのコートの規制緩和が発表され、別表の基準を満たせば、市販のコート着用が認められることになった。

急に冷え込んだ十一月下

### 〈コートの条件〉

・紺色、無地であること  
・制服の上から着ること  
・革ジャン、Gジャン、  
スタジャンなど「遊び  
着」不可

旬の朝、さっそく私服の  
コートを着て登校する姿が  
見受けられたが、規定をど  
こまで厳密に適用するのだ  
ろうか。生徒部の木村観次  
先生に聞いてみたところ、  
色は青に近いものから黒に  
近いものまで、紺系統なら  
ば柔軟に対処し、襟や袖口  
のふちどり、裏地、ボタン  
の色は問わない。ブードは  
実用性もあり認められる。  
大きく字の入ったものはい  
けないが、メーカーのマー  
クが隅に入るくらいなら

は構わず、合成纖維のものをあつてもよい。

今回の改定の背景には、三十年経つて、指定コートロのデザインも少々古くなったこと、防寒性に劣ること、また、生徒の通学範囲と活動時間の拡大、さらに生徒一人一人の体質が異なること、などがあるそうで、先生方が約一年協議された上での結果だそう。しかし、規定とはいえかなり緩く、生徒がどのように反応するか、それぞれの良識を

式を以て

さて、基準を満たすコートは簡単に手に入るものなのだろうか、四条河原町の百貨店へ行ってみたところ、デザイン、ブランド、生地の種類、裏地の有無によつて差があるが、一万円をわるものから、十万円を越えるものまであり、平均価格は三〜五万円ほどで、かなりの種類のコートが売られていた。

「今どき、イズミヤでも軽くて暖かいダウンコートが一万円で売っているんやねえ。洛星の生徒であることと、学校へ学びに通う服だということをおまえて、ひとつ、いいコートを選んで下さい」と、木村先生。

文化祭見聞錄

今年もやってまいりました文化祭見聞録。井の中の蛙に大海を知ってもらいましょう（19）

灘

$\overbrace{5/1}^{5/3}$

以前にも一度当欄で取り上げたことのある灘校。皆さんもよく御存知のこの学校は、JR住吉駅から徒歩五分の地にある。

今年初めて、という中庭の特設ステージ企画では、クイズやコントをやっている、どのコントが一番面白いお客に多数決を採ったりもしていた。小講堂ではね

**大阪女学院** (11/2・11/3)

門の受付でチケットを引

京都橘女子高校において、第二回私学デーが開催された。私学デーとは、言ってみれば、京都の私立高校

の生徒が集まって練習するという、時間的な制約があっただろうが、いささか練習不足の感は否めない。けれども、実行委員の人達は、私達にはわからない何かを得たのではないだろうか。

て電波を流すほか、校内放送を一手に引受けて迷子探し、呼び出しもやっている。将棋、囲碁、スクラブルの対局が楽しめる教室もある。数学研究部や化学研究部、さが専門な展示もあり、さすがに灘校と思わせるまじめさ。

小学生にうけそうなのは「灘校グッズ」の販売。学校の名前の入った文具などを売っていた。

している。教室の中でさまざまな葉子を売っていたりする。教室でやっている企画はほとんどクラス主催のもの。カラオケ、お化け屋敷人間コンテスト、ジュリアナ等々のイベントばかりだ。中には、壁に貼られた赤ちゃんの写真の中から何に入ったのを選ぶと、十歳に成長した乙女が校内を十五分間案内してくれる、

の教室でも人口を派手に飽付けて盛んに呼び込みをやっている。出口の校門では客に教室企画の人気投票をさせていた。

洛星の常識からすれば、かなり自由奔放な文化祭に見えたが、この学校ではきつとこれが伝統なのだろう。

日程がよそより少し遅いためか、大勢の客の中には男どもの姿もすくなくない。

生かして講義するオータムセミナーを中心に催物は進行し、オータムセミナーでは、特別講師として、本校の灌将之(ⅡB)が、環境問題について講義を行った。

ただ、全体的な雰囲気としては、身内の結束が固いのか、やや内輪の盛り上がりを見せていた気がするの  
は、記者だけではないであ  
ろう。

さらに、舞台では、他校

せ中に入る。と、いきなり食券の売り込みをやっている。さすが女子校だけあって模擬店の数は多い。緑豊かな中庭にはテントが並

という企画や、ショートサスペンスを上演して、客に犯人をあてさせる企画もあった。また、和服姿の茶道部員が茶をふるまう茶席

全体の文化祭みたいなものであるうか。洛星高校からも十五名ほどが実行委員として参加していた。

当日、ミュージカル、模

ひと 抄録

文化祭二日めの展示コンクール審査に、記者も同行させてもらった。厳しい責

情はナルを見つめるまじきもの。さうして、  
どしどしは貞剣そのものである  
何しろ、それぞれの展示の  
出来ばえは、文企展示パ  
トリダーとしての一年間  
の自分の働きの成果でもあ  
るのだから。

中一、中二の文化祭は、  
ただぼんやりと過ごしたが  
中三の時、誘われて文企の  
展示パートに入った。その  
時は新入りだから下働きば

「初めは、いまでもなさそう  
なことでも、いざやってみ  
ると案外おもしろくなる。  
だから、皆、文化祭などに  
積極的に参加したらいい」  
と思う。

去年の文化祭が終わった  
時、次期展示パトリリー  
ダーに指名され、以来約一  
年かけて今年の文化祭への

来年以降を考え、パート内の文書を一人ですべてワープロで打ち、フロツピイに収めた。夜遅くまでワープロを打ち、疲れて遅刻することも度々になったが、そんな生活も、苦にならなかった。ただ、自分一人ではよい込んでしまったところに、リーダーとしての力量のなさを反省している

H I E 宮本茂輝君 みやもとしげき

もとしげ き  
本茂輝君

関しては誰にも負けたくない」という気持ちがあった。展示パート内だけでなく、

する自分の考え方は、ずいぶん進歩し、頭が軟らかくなったと思う。「暗室を許可

た。今年一月、文企の全校的アンケートで文化祭への意見を聞いたところ、マンネリ化を指摘する声が非常に多かった。一部の人のしか文化祭に参加してないし、文化祭が原因だと思いい、全員参加の結果より過程を重視する文化祭」を提唱した。

そのかわり、展示パートとして、展示団体の代表と何回も会議をして、BGGなどの規制を緩和したり私学デーにヒントを得た新

展示もできた。思いきって規制をなくしてよかった。今、「文化」に関わり合い、だと思ふ。皆が一緒になって企画を立てれば、それが文化になる。」

理想の文化祭を追う思いは止みがたく、ついに先日生徒会長に、「文化祭について徹底的に議論を重ね、次期での制度改革につなげるのが役目。」

物静かな中に、不動の意思を備えたひとである。



# '93 夏 豪州体験レポート！ 太平洋を越えて…

今年の夏、日豪国際交流プログラム(洛星同窓会の奨学金制度)により、本校の生徒二名がオーストラリアに一週間派遣された。本紙記者の橋本慎一(3A)がこのプログラムに応募し、派遣されたので、以下その様子をレポートする。

## バンフォード家でのホームステイ

西川裕紀

八月四日(水)、このプログラムより派遣されることとなった日Bの西川裕紀さんと私は引率の高田三夫先生とともに小南の大坂空港を午後七時四十五分、出発しました。日付がかわり翌五日の現地時間午前三時(オーストラリア東部の時間は日本時間十一時間、ケアンズ空港にオーストラリアの第一歩を踏んだ。そして、八時すぎに無事シドニーに着きました。午前中はオーストラリア最大の都市で全人口の約二〇%の人が住んでいるシドニーの街をバスガイドにクレーアさんを迎えて見学します。クレーアさんは、日本語を上手に話されます。(もちろん英語も！)

一行はシドニーの北のニューキャッスルへ向かい、聖フランシスザビエル高校でホストと初対面です。そして一週間、ホームステイしたんですが、その様子を同行の西川さんにレポートしてもらいます。



The Schuman Family(橋本ステイ先)

朝食は、トーストがシリアルと紅茶。学校にはランチとしてホストマザーの作ったジュースをそえて持たせてくれた。夕食は大抵、大皿に盛り付けられて、みんなで食べていた。自でとって食べたというものがなかった。

## 様々な思い出を胸に帰国

## 感動的な10日間

たことがあった。しかも、茶碗によそって箸までつけてくれたのだ。ところが、何となく、ホストマザーは僕より箸の使い方が上手で恥かしい思いをしてしまった。

また、ホストマザーがキッチンに立つこともしばしばで、彼の作るビュッフェは、ホストマザーの料理に劣らず絶品だった。時折、夫婦仲良く料理するという微笑ましい光景も見受けられ、素敵だと思わず感心した。

生活面でそれほど支障はなく、快適に過ごす事ができた。細かい事は、トイレやバスルームに鍵がなく、ドアが開閉すれば使用可能という合図だった。だから、ドアの開閉には気を付けてなければならなかった。週末には、シドニー観光や近くの海岸にピクニックに連れて行ってもらった。ピクニックは小雨が時々降ったりと天候には恵まれなかったが、いわゆるカンガルー牧場みたいな所で、

はお茶などないので当然ジュース。しかもデザートは決まってフィオナの大好物であるアイスクリーム。これもデザートにのりにはかなりの量があり、このままでは太ってしまうと考えた僕は、できる限りミネラルウォーターを飲むよう努めた。一度、ホストマザーが御飯を炊いてくれて、学校へは学生専用バスでおよそ一時間かかる。このバスには、色々な学校の生徒も乗っている。一時間のバス通学は慣れない僕には



陽気なバンフォード一家(西川ステイ先)

またしても余談だが、せっかくだからフィオナに何か面白い日本語を覚えてあげたいと思い、「もうええやうに。」という言葉の意味と使い方を教えたのだが、日が経つにつれ、僕がくだらないジョークを言うとかさず、「もうええやうに。」

短期留学の最終日、いよいよシドニーに戻ってきました。(別紙参照) オーストラリアをたち、九時間のフライトで大阪空港につきました。みんなで英語にふれ、美しい景色にふれ、すばらしい人々と出会い、本当に魅力的な充実したプログラムでした。最後に

## 台風の渦中で

## 九州・研修旅行

九月二日から五日間、中

三は九州へ研修旅行に行ってきた。京都駅から新幹線で博多駅へ行き、バスに乗った。戦後屈指の台風十三号が近づくと、吉野ヶ里遺跡を見学。お話を伺った。これは先月末に報道されたのが記憶に新しい。そして国際文化会館へ。やはり五十年近くたった今でも、写真や遺品を見ていると悲愴が感じられ、改めて平和というものを考えさせられる。



お世話になった西肥バスの方々

雨風ともに増し、美しいはずの夜景は見られず、翌三日は一日中ホテル待機となり、ミサの後夜祭会が開かれた。台風一過の四日、青空が顔を覗かせる中、長崎市内で別研修旅行を行った。九州での最後の五日は、阿蘇中岳に登頂。今年で締めくくられるという巧みなガイドのおじさんの語りにつられて、噴火の写真をとったり、天然硫黄のセツトを五百円で買った人も多かった。来年

## 42期 吉武英則君を悼む



吉武英則君

去る九月三日、四十二期の吉武英則君が、運ばれた相馬病院で午後二時二分、急性心不全のため亡くなりました。吉武君は、この日の四時間目の水泳の授業中、クロールの練習のため、ビート板を使ってバタ足で泳いでいたが、二十メートルほど泳いだところで突然、心不全をおこし、ビート板から手を離し、仰向けになりました。

吉武君は、今年(平成五年)入学したばかりだった。入学前の健康診断や小学生の時に受けた健康診断でも異常はなかった。また、日頃の吉武君は健康で、陸上競技、特に、球技が得意であった。クラブ活動の面でも、野球部に属し、将来を期待された選手であった。

通夜は九月五日、葬儀は九月六日であった。十一月五日には、修道院で追悼ミサが行われた。亡くなられた吉武君のことが忘れられない。

吉武君との思い出 MIB 堀谷 索 吉武君の死が、僕にはまだ信じられません。つい三ヶ月前まで、一緒に学んできたというのに……。吉武君とはじめて会ったのは、入学式の日でした。とても緊張していた僕に声をかけてくれたのが彼だったのです。それ以来、僕たちは仲よくなりました。吉武君と山原君と僕の三人はいつも一緒に行動するようになった。バスケットやサッカーをしたり、お弁当を食べたりしました。よくお金の取り合いをしたのを覚えています。また、吉武君はスポーツ

## あなたが大賞

今号新登場の、連載「あなたが大賞」。クラブや同好会などの試合成績や研究成果の中で、特に称賛、注目すべきものを紹介します。次回以降も充実した内容でお届けしたいと思います。お近くの局員が旧視聴覚そのの局員まで情報をお寄せ下さい。

- |                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 《中学バドミントン部》<br>京都府総合体育大会<br>団体 三位 中塚・西村組<br>三位 中村・谷組<br>▽近畿大会出場、歩及ばず<br>私学総体バドミントンの部<br>洛星3-10同志社<br>優勝 洛星<br>洛星2-1平安 | 《陸上部・中学》<br>京都府中学校競技大会<br>800m 優勝 1分58秒2<br>京都府私立総合大会<br>400m 優勝 52秒8<br>以上 上野山陽介(3D)<br>京都府中学校夏季選手権<br>800m 優勝 1分59秒96<br>三種B 一位 上野山陽介<br>二種B 一位 1分59秒11<br>国民体育大会<br>800m 予選 上野山陽介<br>《囲碁将棋部》<br>第四回京都府高校将棋秋季選手権大会<br>A級 優勝 山田賢永(II E)<br>三位 青木保繁(II E)<br>B級 三位 南本天(II C)<br>《演劇部》<br>第六回京都府高等学校演劇大会(通称府大会、117)<br>演目「交換部」<br>三年ぶり二度目の府大会出場。男子校という特殊な条件下、洛星にしかできない劇を目指したが近畿大会には、歩及ばなかった。なお夏には同じ演目で市内最優秀賞(ESS)<br>第六回朝日英文エッセーコンテスト<br>優秀賞 廣瀬恒彦(III B)<br>近畿高校英語弁論大会(梅花女子大学・毎日新聞社)<br>三位 北川浩司(II E)<br>《中学バレー部》<br>京都府新人戦 三位<br>《ラグビー同好会》<br>全国大会予選<br>一回戦 5-10 対洛東<br>二回戦 0-57 対南丹<br>▽洛東戦では前半十一分に大岸のあげた先制トライを守り抜き、念願の初勝利。続く南丹戦では終始相手にペースをとられ惨敗を喫したが、それをバネに二回の近畿大会に向け毎日練習中。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- 《個人》  
全京都府少年少女空手道選手権大会 個人組手 優勝 申 宏之(3A)



# 校間他訪 府立北嵯峨高校

シリーズでお送りしている「他校訪問」訪問先は、決して女子校ばかりではありません。今回は、右京区にある、府立北嵯峨高等学校におじゃましてまいりました。皆さんよく御存知の通り、野球の強豪として知られる、あの北嵯峨高校です。洛星新聞局としては初の公立高校訪問でもあり、成果を喜ばしにしたいところです。

白梅町から車で約十分。のどかな田舎地に建つ北嵯峨高校の校舎は、一帯が風致地区のためデザインが工夫され、遠目には学校に見えないようなおしゃれな雰囲気で、同校の新聞部室で、同校新聞部長の上田君はじめ四人の部員が待っていてくれました。

コース間に「壁」なし  
北嵯峨高校は、昭和五十年創立。現在生徒数およそ千二百人、校訓は「独創・質実」。普通科のみで、I類(標準コース)とII類(学力伸長コース)に分かれています。クラス数は一年生二クラスの計十一クラスです。コース間の移籍は原則としてありません。でも、同じ学校の中で一般・進学コースが分かれていて、



北嵯峨高校新聞部の皆さん(右)

コンピュータ二十四台を有する「コンピュータ教室」が最近新設されたそうです。

## スポーツかなり盛ん

さて、北嵯峨と言えは何か、北嵯峨と言えば何と云っても野球が有名。今年春のセンバツで甲子園に出場したのを御記憶の人も多いでしょう。さすがに甲子園に出ると学校中が野球一色に染まり、一般生徒も応援にかり出されるとのこと。

## 一年生は四十人学級

と。野球以外にも、ハンド、陸上、女子バレーが全国大会を経験しており、スポーツはかなり盛ん。この強さの秘密はどこにあるのでしょうか。

京都府の制度では自宅に近い高校に通うのが原則。しかし、一定の通学圏の範囲で、他の学校に定員の十割の枠内で入学できる(I類の場合)。北嵯峨の



北嵯峨高校の校舎

## 「甲子園」で野球一色に

ややかすみがち。特に、去年九月に始まった週五日制の影響が大きい様子。以前は週一時間「全クラ」という全員がクラブ活動に参加する時間があつたのが廃止され、授業に充てられることになりました。これにより、存亡の危機に立たされたり、活動を縮小する部が少なからず出たそうです。

## 古墳に囲まれた学校

着けることになりました。制服への不満は皆無ではないが、改定論議が起るといふほどではないようです。共学という点で、男の子に男女交際についても聞いてみました。誰かがつき合っているという噂が立ったり、渡り廊下で二人きりで喋っていたりという話もかなり日常的にあるようです。男子校の常識か

# Who's this?

第10回



【前回の答え】  
洛星きつての音楽家、音楽の遠藤先生ハオ当時のりりしきお姿でした。

【ヒント】  
元洛星野球部員。首のかしげ方、髪形、目の感じは昔も今も変わりませんね。



洛星の野球部員たち

## 社会科

# 徳安先生「結婚」



去る十月十七日、本校社会科の徳安浩明先生と平井敦子さんが結婚されました。結婚のうわさは昨年の十月頃から流れていました。先生からも授業のあいだに「先生から授業のあいだに」とおっしゃっていたので、式場の出口で待ちうけた洛星の生徒はだいぶ多かったようです。

## 短 信

△二百周年 盛大に△  
創立記念ミサが行われたが、今年はヴィクトール修道会の創立者ルイ・ケルブ神父の生誕二百周年記念のため、司祭が八人も揃うなど、盛大に行われたミサ写真。



創立記念ミサの様子

△美術A「公開授業」  
十月二十五日の放課後、ウトカン・サルマン氏を講師に招いて、高校美術Aの「公開授業」が行われ、美術A非選択者も含めて約三十人ほどの生徒が、会場の社会科教室に集まった。

視点 ⑨	
記録的なコメ不足の中、政府は新ラウンドの合意案を受け入れ、コメ市場を開放することになったが、一連のコメ政策で一番バカを見ていたのは、何と云ってもコメ農家である。	
戦中からの一貫した国のコメ全量管理の中、昭和四十年代半ばにコメが余りだして始まった減反政策には、実は法的根拠はない。だが、実態は縦割り行政と農林省の会の中での農家への減反押し付け。各農家の出荷量は予め決められ、作付面積も制限される。減反ノルマ達成のために「青刈り」を強いられるケースもある。	
「食糧管理精度を高める」という名目の下、農家は二十年以上も減反に耐えてきた。昭和五十年代からは、生産者米価の事実上低下が続く。そして今回、減反の中止。そして今回、減反の中止。そして今回、減反の中止。	
△球技大会行われる△ 中高の球技大会が、去る十月二十七日(中学)、二十八日(高校)の両日に行われた。昨年と違い雨や工事の影響も受けず、程良い空の下で行われた。中学部の総合は上位三位を三中が占め、ソフト・バスケ・ハンドの上位三位を三中が占めた。バレーは三中が二、三中が二、三中が二。	
△洛星が 十月上旬、本校でテレビドラマの撮影が行われ、タレントの細川ふみえ、俳優の伊武雅彦などが訪れた。このドラマのタイトルは「幕末高校生」で、一月八日から、フジテレビ系毎週土曜H20:00-21:00で放送される予定。少しの間、勉強の手を休めて、テレビを見ては!!	

編集後記	
○一人でも多くの局員が増えることを心から望んでいます。	
○来年四月になれば中三の局員は〇人になるでしょう。	
さらば新新聞「関西西批判」をやめた鉄道マニアの声」最近、新聞局員は二人ふえた。それでも八人。来年はどうなるかな?経営が悪化しています。	
【洛星新聞局スカウト部長に出世しよう。旧新人局員】	
なぜか多い局員不足ネタ。そりゃ確かに人手不足だけど、まずお前らしつかり局室へ通えよな。もちろん新入局員も歓迎。新コーナー「あなたが大賞」にネタ提供よろしく。(ミスターE)	
先号の高II研修旅行記で硫黄山の頂上を極め云々と書いたが、本当の頂上は別の場所。と読者のお叱りの声が。教えてくれてありがとうございます。お詫言として訂正します。(奈良線と便利にせよと荒野に叫ぶ者の声)	
コート規則緩和と天の声。皆さん、貴方に走らず、清貧の思想で行きましょう。(流行語のサポーター)	
今年も残すところあとわずか。あわただしい年の瀬を迎えています。本紙は来年も「波瀾万丈」を追えます。良いお年をお迎え下さい。(編集 功男)	
すたっふ	
局長・編集長	HIE 北川浩司
局長	HIB 小森茂明
局員	HID 柴田真次
	M3A 橋本慎一
	M3B 三浦公道
	M2C 富永洋之
	M2D 広井彰人
	M1B 野々口吉貴